

白謡会・春の会番組

平成二十五年五月十九日（日）午前九時二十分始
於・横浜能楽堂舞台（〇四五―二六三―三〇五〇）

連吟

賀茂 杜若
シテ 金山 武志
シテ 永野由紀子

ワキ 河野健三
地謡 三武 孝 他 男性会員
地謡 菅原秀子 他 女性会員

素謡

通盛

ツレ 越後貫 隆

シテ 中山 眞秀
ワキ 渡邊 長壽

地頭 舍川重隆、副地頭 河野健三

千手

ツレ 内田 節子

シテ 石井 静江
ワキ 三野 仁子

地頭 青山圭佑、副地頭 関口 潔

連吟

吉野天人 弱法師
シテ 佐藤 文孝
シテ 初田 敏美

ワキ 竹川 綾子
ワキ 関口セツ子
地謡 石井佑卯子 他
地謡 橋本 鏡子 他

仕舞

嵐山 経正 水無月被 葵上 梅枝 須磨源氏 花月 車僧
佐藤 文孝 内田 節子 松島 總子 岩淵貴美子 尾崎 純子 神崎 克子 中尾 操 松澤 英雄

素謡

西行櫻

無本

シテ 森 庸一

ワキ 小林 宏三

ワキツレ 長谷川次八

地頭 高木了二、副地頭 北島大靖

法 高木 直美

内 糸井多倍子

局 西澤 滋幸

大原御幸

シテ 山口 健次

ワキ 二宮 恵磨

ワキツレ 小笠原久珠子

地頭・関口潔、副地頭 一坂洋三

田村 鴨川 昭一
シテ 高井 倫子
ワキ 菊田 博
地謡 河野健三
三井寺 倫子
シテ 高井 倫子
地謡 龍田啓子
他

仕舞

岩船 宮下 嗣弘
清經 宮下隼太郎
班女 永野由紀子
通盛 金山 武志

花筐 森川 洋子
楊貴妃 國廣 静
蟬丸 河野 健三
籠太鼓 西尾まつ枝
道明寺 堤 美代子

梅 石井佑卯子
巴 三野 仁子

一管

下り端 中山 眞秀

素謡

百 萬 子方 鈴木 幸子
シテ 鈴木 紀子
ワキ 山森 和夫

地頭 渡邊長壽、副地頭 西澤滋幸

景 清 トモ 堤 美代子
ツレ 佐川 武子
シテ 北島 大靖
ワキ 吉原 昭三

地頭 三武 孝、副地頭 山形隆康

仕舞

賀茂 青山 圭佑
淡路 小島 洋子
清經 初田 敏美
放下僧 関口 潔

卷絹 小林 宏三
俊成忠度 糸井多倍子
櫻川 一坂 洋三
浮舟 齊藤千賀子
富士太鼓 龍田 啓子
鞍馬天狗 田中 幹久

舞囃子

養老

加藤千恵子

大鼓 三木亜威子

太鼓 小島 倅也

小鼓 相良 邦子

笛 大久保直樹

地謡

青山圭佑、松澤英雄、平戸仁英、三武 孝、渡邊長壽

安宅

三武 孝

大鼓 松澤 英雄

笛 大久保直樹

地謡

平戸仁英、青山圭佑、渡邊長壽、小林宏三、北島大靖

連吟

誓願寺

シテ 尾崎 純子

地謡 松島總子 他

舞囃子

山姥

橋本 鏡子

大鼓 三木亜威子

太鼓 小島 倅也

小鼓 相良邦子

笛 大久保直樹

地謡

松澤英雄、青山圭佑、三武 孝、中山真秀、平戸仁英

素謡

善知鳥

ツレ 岩淵貴美子

シテ 松本 幸子 ワキ 石井佑卯子

地頭 舎川重孝、副地頭 高木了二

附祝言

(終演午後六時予定)

注①連吟の範囲、素謡省略箇所は左記の通りとします。

連・賀茂Ⅱ六丁表のワキ「よくよく・・より、八丁裏のロンギ留まで」

連・杜若Ⅱ七丁表のシテ一セイより、十丁表クセ留まで

素・通盛Ⅱサシ、クセ省く

素・千手Ⅱクセを省き、十一丁裏のワカに跳ぶ

連・吉野天人Ⅱ三丁裏のワキより最後まで

連・弱法師Ⅱ八丁表のワキより十一丁表の狂い留まで

素・西行櫻Ⅱ省略箇所なし

素・大原御幸Ⅱ二丁裏のシテ上歌及び九丁表地謡上歌を省く

連・田村Ⅱ五丁裏のワキ「まず南に・・より、中入まで」

連・三井寺Ⅱ八丁表のシテ「かほどの聖人・・より、十一丁表クセ留まで」

素・百万Ⅱ二丁裏からの「笹の段」を省き、三丁裏のシテ「南無や・・に跳ぶ」

素・景清Ⅱ三丁表の地謡上歌及び十二丁表の地謡上歌を省く

連・誓願寺Ⅱ後シテより、クセ留まで

素・善知鳥Ⅱ七丁表の地謡上歌を省く

注②昼食は、能楽堂二階の食堂で用意致します。また、飲料用にペットボトルをご持参下さい。

注③会の終了後、野毛の「一の蔵」で懇親会を催します。

(五月五日版)